

# 公明党京都市会議員団ニュース 京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

No.14 2015年  
9月発行

発行人兼編集人/曾我 修

〒604-8571 京都市中京区  
寺町御池上る上本能寺前町488番地  
TEL: 075-222-3732  
FAX: 075-212-3608

公明党京都市会

検索

## 公明党京都市会議員団が 新体制でスタート!!



公明党京都市会議員団は曾我 修団長・久保勝信副団長・湯浅光彦代表幹事の新体制で、新たなスタートを切りました。現場第一主義で地域のチカラとして京都活性化へ全力投球します。



### 新たな決意でスタート!!

公明党京都市会議員団 団長 曾我 修



4月の統一地方選挙におきましては公明党京都市会議員団11名全員が当選を果たし新たな決意でスタートをいたしました。

皆さまから頂いたご期待にお応えしていくため、議員団が団結して全力で頑張っております。

今、地方創生が大きな課題となっている中で、我々は「人が生きる地方創生」を掲げ、「人の幸せ」に光を当てた政策の実現が求められていると考えています。どこまでも皆さまのお声をお聞きし、現地現場主義で市民目線に軸足を置いた政策実現に向けより一層の努力をして参ります。

公明党京都市会議員団は「地域のチカラ」として市民の皆さまの声を京都市政に反映させるための活動に尽力することをお誓い申し上げます。

現在、全国的に地方創生が大きな課題となっております。地方創生を実現していくためには地方がその地域の課題を明確にし、それに対して具体的な政策を打ち出していく必要があります。公明党京都市会議員団は「地域のチカラ」として徹底して地域を歩き、皆さまの声を傾け市民のための地方創生を実現するための政策を提言して参ります。

地域のチカラとして  
市民とともに!!



特報!

9月市会が開会中  
(9月24日~10月29日)

本会議代表質問は10月1、2日に行われ、公明党からは吉田孝雄議員(伏見区)、平山よしかず議員(西京区)、青野仁志議員(中京区)の3名が10月2日午前10時頃から登壇します。



湯浅 光彦 議員「右京区」

京都市版地方創生の取組について

湯浅光彦議員は人口減少社会を見据え国と地方が一体となつて地方創生に取り組み中、公明党は「人が生きる地方創生」を主張している。市民の思いに耳を傾け、寄り添いながら京都市版地方創生の取組を進めるべきであると訴え、門川市長は「まち・ひと・しごと」の創生に加え「こころの創生」が重要と考え、様々な団体や市民からあらゆる手法を用いての意見交換を実施していくと答弁しました。

経済状況による学力格差解消の取組について

子ども能力が発揮される人材育成のため地域の力を借りながら経済状況による学力差の発生を防ぐ取組を進めるべきと主張。

市長は新たに中学校校区を単位として地域、大学生等の協力を得つつ、放課後の補習を行う「未来スタデイ・サポート教室」を実施する予定していると答弁しました。

京都活性化へ!

代表質問

京都市会定例会議の代表質問で公明党京都市議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成27年2月議会では湯浅光彦議員(右京区)、吉田孝雄議員(伏見区)、国本友利議員(左京区)が、5月議会ではかわしま優子議員(伏見区)、西山信昌議員(下京区)が質問に立ちました。

京北地域の活性化ビジョンについて

京北を含む中山間地域の活性化に向け、行政だ



右京区京北のまちなみ

けでなく地元の方々と共に他地域へ同行視察を行い、防災や農林業振興などの活性化ビジョンを拡充すべきと提案。

市長は先進事例の視察を含め、市民ぐるみで希望あふれるビジョンを策定して参りたいと答弁しました。

団地の高齢化対策について

公営住宅の高齢化対策についてエレベーター設置等のバリアフリーを急ぐとともに、現行の「住み替え制度」を住民の側に立ったものに拡充すべきと訴えました。



市営住宅のエレベーター設置工事

門川市長は「次期住宅ストック総合活用計画」策定に取り入れることを確定

また、子育て支援の充実について、実の具体策として、魅力ある公園を志向するため保護者向けアンケート調査を提案。

副市長は地域ぐるみで公園の未来像を考える上で市民の声を積極的に反映するとともに、多世代の負担軽減も図っていくと表明しました。

吉田 孝雄 議員「伏見区」



約し、団地自治会の活動も、きめ細かくサポートしていくと答弁しました。

子育て支援の充実について

クラウド活用の推進について

そして無駄の削減と市民サービス向上のため大きな可能性を持つ「電子自治体構想」を加速するため、最新技術であるクラウドの活用に向けた庁内体制の充実を提言。

副市長は、全庁体制でICTの戦略的かつ積極的活用を進めると述べました。

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 京都市版地方創生の取組について
- 京都経済の活性化と安定した雇用の創出について
- 子ども・子育て支援新制度について
- 経済状況による学力格差解消の取組について
- 自転車政策について
- 京北地域の活性化ビジョンについて

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 団地の高齢化対策について
- 子育て支援の充実について
- クラウド活用の推進について
- ICカードの普及促進について
- 動物愛護について(要望)



国本 友利 議員「左京区」

建築物の耐震化について

阪神淡路大震災から20年。京都市も直下型地震が想定されています。市民の命を守るためより一層の建築物耐震化の促進を求めたことに対し、門川市長は修繕工事メニューの補助限度額引き上げと耐震診断無料化を実施するなど多角的な努力で耐震化90%を達成して参りたいと答弁しました。



木造建築物の耐震化

地域若者サポートステーション事業について

地域若者サポートステーションの充実について高校中退者への支援を強化するため、学校からサポートへの切れ目のない誘導を図る仕組みづくりが必

要と提案。副市長は27年度からは新たに、サポステに専用窓口を設置し、多くの高校からの相談に迅速に対応し、切れ目のない支援の仕組みづくりを進めていくと答弁しました。

岡崎地域の特性を活かしたMICE戦略の推進について

MICE戦略を推進するうえで、京都ならではの魅力が集積している岡崎地域は大きな可能性がある。岡崎地域の施設を活用する積極的な活性化策を進めるべきと提案。これに対し、副市長は岡崎地域の魅力を活かし、みやこめつせとルームシアターを映像でつなぐ機能強化などでMICE戦略を推進していくと答弁しました。

国本友利議員のおもな質問項目

- 建築物の耐震化について
- 密集市街地・細街路対策について
- 河川の整備及び維持管理について
- スクールソーシャルワーカーの拡充と人材確保について
- 地域若者サポートステーション事業について
- 岡崎地域の特性を活かしたMICE戦略の推進について



健康長寿社会の実現に向け、公園に健康遊具や

健康づくりのための公園施設整備について



にしやまのぶまさ 西山信昌議員「下京区」

説明板付き健康遊具

「障害者優先調達推進法」を受け障がい者就労施設等への優先

障がい者就労施設等の活動の場の拡大について

でいくと答弁しました。

ウオーキングコースの設置・案内表示などを進めてはどうかと提案。副市長は健康遊具やウオーキングコースの設置に努め、健康づくりに役立つ公園施設整備に取り組んでいくと答弁しました。

妊娠、出産から育児期までの切れ目のない支援の充実を図るため、子育て世代を包括的に支援する機能を強化すべきと提案。

切れ目のない子育て支援の充実について

と答弁しました。

発注の取組と工賃向上を図り、障がい者就労施設等の製品の販路拡大に向け公共スペースを活用する取組を提案。門川市長は様々な分野での京都市からの発注拡大と区役所スペースを活用し販路拡大に取り組むと答弁しました。

西山信昌議員のおもな質問項目

- 健康づくりのための公園施設整備について
- 障がい者就労施設等の活動の場の拡大について
- 切れ目のない子育て支援の充実について
- 学生消防団活動認証制度について

市長は「すくすく子育て応援事業」を全市展開し、それぞれの子育て家庭に必要な支援が行き届くよう取組を進めていくと答弁しました。



かわしま優子議員「伏見区」

国際交流の推進について

国際交流の一環として、「レオナルド・ダ・ヴィンチ」展のような文化・芸術の形で市民に喜んでもらえる取組をより一層進めると提案。更には都市間交流として日韓の交流を促進するべきと主張。門川市長は世界文化都市として市民交流や若者の交流を推進していく事

発達障がいへの支援について

発達障がいを抱えた方やその家族への支援について従来のセンター集約型にとどまらず、地域の総合的なチーム力による取組を根付かせていくべきと訴え、これに対し市長は地

が重要であり、文化・芸術活動等を通じて地域の平和と安定に貢献していくと答弁しました。

不登校児童への支援について



冊子「子どもと親のかかわり」

不登校に悩む児童生徒や家族に対するケアの一環として思春期の中学生の親を対象とした冊子を

作成し保護者の安心の一助にすべきと提案。

教育長は冊子の作成は非常に有意義であり、関係者によるプロジェクトを立ち上げ次年度からの配布に向けて検討を進めていくと答弁しました。

かわしま優子議員のおもな質問項目

- 国際交流の推進について
- 発達障がいへの支援について
- 不登校児童への支援について
- 観光を通じた伏見地域の活性化について



委員会紹介

京都市会では5つの常任委員会と市会改革推進委員会があり、1年を通じてそれぞれの課題に対し活発な議論がされています。



経済総務委員会

青野仁志・西山信昌



行財政改革へ、現場発の政策提言を！ 行財政局、総合企画局、産業観光局他、多岐にわたる分野を担当しています。



くらし環境委員会

ひおき文章・国本友利

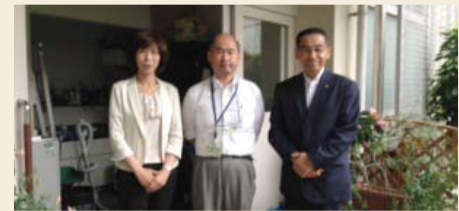


京都の未来へ、市民の生活向上を！ 環境政策局と文化市民局に関わる分野を担当しています。



教育福祉委員会

久保勝信・かわしま優子



教育力の向上・福祉政策の充実！ 保健福祉局と教育委員会に関わる分野を担当しています。



まちづくり委員会

曾我 修・吉田孝雄



安心安全のまちづくりへ全力！ 都市計画局と建設局に関わる分野を担当しています。



交通水道消防委員会

大道義知・湯浅光彦・平山よしかず



防災、ライフラインなど重要課題に挑む！ 消防局、交通局、上下水道局に関わる分野を担当しています。

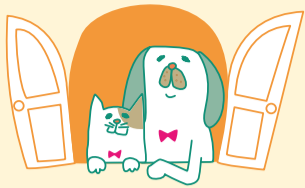
市会改革推進委員会

吉田孝雄・国本友利



市民に開かれた議会改革を推進！ 議会機能の充実・強化と開かれた市会のより一層の推進を担当しています。

## 動物愛ランド・京都を視察



平成27年6月1日、公明党京都市議員団は5月2日にオープンした京都動物愛護センターを視察しました。約2,800㎡のドッグランも併設され、大型犬専用ゾーンと中型・小型犬ゾーン、お試しゾーンに分かれています。夜間救急搬送センターは獣医師会の全面協力が実現。全国からも注目を集めている府市協調の施設です。



施設での取組内容について説明を受ける

## 雨水幹線による浸水対策を視察



平成27年7月31日、公明党京都市議員団は「朱雀北幹線公共下水道工事」を現地視察。

昨今、大雨災害が多発する中、京都市では「雨に強いまちづくり」を推進しています。その一環として、雨水幹線を整備し、大雨被害をなくすために全力で取り組んで参ります。



現場内で工事内容の説明を聴取

## 公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



**中京区**

あおの ひとし  
**青野 仁志**

①2期 ②経済総務委員会  
③会計

**左京区**

くにもと ともとし  
**国本 友利**

①2期 ②くらし環境委員会  
③政調副会長

**北区**

ひおき ふみあき  
**ひおき 文章**

①7期  
②くらし環境委員会

**右京区**

ゆあさ みつひこ  
**湯浅 光彦**

①4期 ②交通水道消防委員  
③代表幹事

**南区**

だいでう よしとも  
**大道 義知**

①7期  
②交通水道消防委員会

**下京区**

にしやま のぶまさ  
**西山 信昌**

①1期 ②経済総務委員会  
③政調事務局長

**山科区**

くほ かつのぶ  
**久保 勝信**

①4期 ②教育福祉委員会  
③副団長

**伏見区**

かわしま ゆうこ  
**かわしま 優子**

①1期 ②教育福祉委員会  
③政調委員

**伏見区**

よしだ たかお  
**吉田 孝雄**

①3期 ②まちづくり委員会  
③幹事

**伏見区**

そが おさむ  
**曾我 修**

①4期 ②まちづくり委員会  
③団長

**西京区**

ひらやま よしかず  
**平山 よしかず**

①3期 ②交通水道消防委員  
③政調会長

### 京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。  
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから  
携帯電話でアクセスでき  
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを  
公明党京都市議員団にお寄せください

- TEL: 075(222)3732
- FAX: 075(212)3608
- 電子メール: [komei@lime.ocn.ne.jp](mailto:komei@lime.ocn.ne.jp)
- ホームページ: [公明党京都市会](#)

